

Cisco コンテンツ セキュリティ アプライアンス で有効化されているライセンス済み機能をどう のように判別できますか。

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[Cisco コンテンツ セキュリティ アプライアンスで有効化されているライセンス済み機能をどうの
ように判別できますか。](#)

[関連情報](#)

概要

この資料に Cisco コンテンツ セキュリティ アプライアンス モデルで有効になる 認可された 機能を判別する方法を記述されています。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA)
- Cisco Web セキュリティ アプライアンス (WSA)
- Cisco セキュリティ管理アプライアンス (SMA)
- AsyncOS

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。こ

のドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

Cisco コンテンツ セキュリティ アプライアンスで有効化されているライセンス済み機能をどのように判別できますか。

コンテンツ セキュリティ アプライアンス モデルのソフトウェアコンポーネント、か機能のそれぞれは、認可され、使用の前に有効になる必要があります。これらのコンポーネントを有効にするために、Cisco 製品ライセンス登録によるグローバルな オペレーション認可（GLO）によって提供されるフィーチャーキーを加えて下さい。各フィーチャーキーは個々のコンテンツ セキュリティ アプライアンス モデルのシリアル番号に特定で、それと関連付けられる満了期間を過ぎます。フィーチャーキーが切れるとき、機能の使用を続けるために Cisco 代表が付いているその機能のための契約を更新して下さい。

注: 永遠キーはその機能のための有効期限がないことを示します。休止キーはこと機能自体に受け入れる必要があるまたはことを機能は設定され、有効にする必要があるエンドユーザー 使用 許諾 契約（EULA）がある示します。完了されて、機能はアクティブに移動し、期限切れタイマーは始まります。

注: バーチャル ベースのアプライアンスに関しては、1 仮想 な アプライアンス ライセンス だけ各アプライアンス製品のために必要です。この 1 仮想 な アプライアンス ライセンス は複数の仮想 な アプライアンスの配備に使用することができます。

コンテンツ セキュリティ アプライアンス モデルで有効になる 認可された 機能を判別するために、アプライアンスに単にログインし、CLI に **featurekey** コマンドを入力して下さい。代替として、GUI からシステム 管理タブにアクセスし、キーを『Feature』をクリックすることができます。

featurekey CLI コマンドからの出力例はここにあります:

注: 追加を更に詳しい情報についてはユーザガイドのフィーチャーキー セクションを管理すること参照すれば。

関連情報

- [E メール セキュリティ ユーザガイドのための AsyncOS](#)
- [GLO 製品登録ヘルプ](#)
- [GLO サポート連絡先情報](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)